

学位被授与者氏名	南 星宝 (なん せいほう)
論文題目	親密な他者との自己開示と親離れとの関係
論文審査結果の要旨	<p>インターネットの発達により、特に青年期のコミュニケーションの変化に関する研究は近年少なくないが、それを自己開示の内容や頻度と親離れ、心理的離乳との関連から論じた点で本研究の問題設定には独自性があり評価できる。</p> <p>関連する先行研究の渉猟と研究史の紹介には十分な紙幅が割かれており、使用した尺度の選定も適切である。また、調査結果は予測されたとおりではなかったが、そこに興味深い考察が加えられており、一つ一つの結果が丁寧に詳察されている。少し視点を変えてさらに発展的な研究へとつなげる可能性も残されており、今回の研究で扱えなかった点も今後の課題として明示されている。</p> <p>全体として修士論文として十分な研究成果であると認めることができる。</p> <p>平成 29 年 2 月 23 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>